

令和〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 札幌市長

郵便番号 060-8611

住 所 札幌市中央区北1条西2丁目 □□様方

団体名 特定非営利活動法人

札幌市市民まちづくり活動促進協議会

代表者 職名 代表理事 氏名 札幌 太郎

(担当者名 札幌 次郎 Tel. 090-0000-0000)

E メールアドレス : 〇〇〇〇@〇.jp

札幌市市民まちづくり活動促進助成金事業実績報告書

令和〇〇年〇月〇日付札自治第〇〇〇〇号により、令和〇〇年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成の種類 (あてはまるものの数字を○で囲む)

(1) 団体指定助成

○(2) 分野指定助成 (活動分野名あるいは冠基金の名称を記載)

まちづくりの推進を図る活動

(3) テーマ指定助成 (活動テーマ名を記載)

2 助成事業名

市民活動団体のための組織運営力レベルアップ講座

3 助成金額 (交付決定通知書の助成総額 (予定) の額)

¥100,000円

4 関係書類

(1) 事業報告書 (様式 9)

(2) 収支決算書 (様式 10)

(3) 現金出納簿 (様式 11)

(4) 事業の経過又は成果を証する書類等

(5) その他参考となる資料

※記載欄が不足する場合など、この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます

事業報告書 (〇〇年度)

目的は、申請書に記載した内容と一致させてください。

<p>事業名</p>	<p>市民活動団体のための組織運営力レベルアップ講座</p>
<p>目的 (市民ニーズへの対応)</p>	<p>市民活動団体・NPO等の組織を運営する上で必要なスキルのうち、特に資金面にスポットを当て、資金確保に関する知識やノウハウについて学ぶことを目的とする。また、自分以外の団体の状況を知り交流の機会を持つことで、団体同士の連携づくりのきっかけともする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>〇〇年〇〇月 ～ 〇〇年〇〇月</p>
<p>助成事業の内容</p>	<p>〇〇〇〇講師である〇〇〇〇〇氏（経歴別紙）を東京から招き、市民活動団体や等が、組織を運営する上で必要な資金の種類について知り、それぞれの見合った資金の獲得方法を学ぶため、2日間の連続講座（受講料1,000円）を開催した。当団体ホームページ及び市民活動サポートセンターメールマガジン等にて募集を行い、受講者は市民活動を行っている方25名が参加した。</p> <p>第1回 題名：「資金の現状と課題」 日時：〇〇年〇〇月〇〇日 10:00～ 場所：市民活動サポートセンター 内容：市民活動団体の資金調達での問題に対応するための講義で、その問題点を学んだ。さらに、グループ討論により、各団体同士が抱えている資金面の問題を共有し、財政を安定させるための収入・支出について考えた。</p> <p>第2回 題名：「財政安定につながる団体の情報発信」 日時：〇〇年〇〇月〇〇日 10:00～ 場所：市民活動サポートセンター 内容：団体の安定的な会費や寄付の確保に不可欠な情報発信について分かりやすく講義があった。さらに、グループワークをとおして団体が発信している情報について振り返り、効果的な情報発信のあり方を考えた。</p> <p>これらの内容については、講座に参加していない方も当講座の内容を学習できるように、講座内容の要点や講座の様子、成果等を当団体のホームページに掲載した。</p>

事業期間は、様式11：現金出納帳で計上する助成対象経費の期間と一致させてください。

申請時に記載した事業内容と対応するよう、その結果について記載してください。

収 支 決 算 書

予算額：様式3：収支計画書と完全に一致させてください。
 決算額：様式11：現金出納帳と内容を一致させてください。また、内訳も必ず記載して下さい。

事業収益の欄には、当該申請事業を実施したことで得られた収入を記入して下さい。

		額(円)	決算額(円)	予・決の差	内
収入	自己資金	140,000	140,000	0	会費 65,000円 事業収益 25,000円(受講料@1,000円×25) その他 50,000円
	さぽーとほっと基金助成金	100,000	100,000	0	〈A〉当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金			0	
	寄附金・協賛金	50,000	35,000	▲ 15,000	寄附金
	その他			0	
	計	290,000	275,000	▲ 15,000	〈B〉
支出	報償費	150,000	150,000	0	講師謝礼(30,000円×5時間)
		10,000	10,000	0	有償ボランティア(1,000円×5時間×1人×2日)
	役務費	15,000	5,000	▲ 10,000	□□新聞広告料
		5,000	0	▲ 5,000	ボランティア保険料
	使用料・賃借料	5,000	5,000	0	会議室使用料(マイク等込み)
	備品費・消耗品費	10,000	10,000	0	方眼模造紙(20枚入り)@1,000×2、マーカー(太字8色セット)@100×5、ポストイット(ノート型)@250×10
		25,000	25,000	0	チラシ印刷費(片面カラー50円×500枚)
	旅費	60,000	60,000	0	講師の旅費(東京～札幌往復、札幌一泊のバック料金)
	その他			0	
	小計	280,000	265,000	▲ 15,000	〈C〉
	助成対象外経費	飲食費	10,000	10,000	0
小計		10,000	10,000		
計	290,000	275,000	▲ 15,000		

当様式は、枠のサイズ、段数等を自由に変更して構いませんので、内訳(単価、個数、仕様等)はできる限り詳しくお書きください。

＜申請時には計画していなかった経費が発生した場合、予・決の差が予算の1割以上または100万円を超えている場合等の理由＞
 役務費(広告新聞料): 新聞広告欄の大きさを縮小したことで安価となったため。役務費(ボランティア保険料): ボランティアが個人で加入し、団体としての支出が不要となったため。

各行について、予・決の差が予算の1割以上の場合は、必ず記入して下さい。

※記載欄が不足する場合など、この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することがあります。

